

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社七日町福祉サービス		
事業所名	介護付有料老人ホームときめき七日町 【事業所番号：0670103654】		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護（介護予防）	定員数	40名
（介護ロボットの製品名） （通信環境整備の製品名） 導入時期及び台数	<p>[製品名]みてるちゃん2カメラ [導入時期]令和5年3月10日 [導入台数]4台</p> <p>[製品名]10.1インチタブレット型PC（カメラ用） [導入時期]令和4年12月15日 [導入台数]4台</p> <p>[製品名]バイタルビーツ（ベッドセンサー） [導入時期]令和5年3月28日 [導入台数]4台</p> <p>[製品名]無線LAN一式 [導入時期]令和4年12月25日 [導入台数]20台</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員との 導入意義の共有）	<p>夜間帯などで1フロアひとり勤務対応をしているが、重複するナースコールや居室内外での転倒に繋がるヒヤリハットの報告が増えてきた。対策として見守り機器を導入活用し、安心安全に生活していただくとともに、職員の業務効率を改善していく必要があると判断した。</p> <p>Wi-Fi環境は二室に1台設置＝20台 見守りカメラは移動可能品とし対象居室に設置＝4台 ベッドセンサーは移動可能品とし対象居室に設置＝4台</p>		
機器を導入することにより達成する目標（機器導入の翌年から3年間、年度毎）	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の動線が把握でき転倒を未然に防ぐことができる</li> <li>事故防止委員会で有効な資料として活用できる</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の負担軽減に役立つ</li> <li>入居者への声掛けタイミングが掴める</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者が居室内で安心安全に過ごせる</li> </ul>		

期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内の入居者状態を全館で共有できデータ分析ができる</li> <li>・職員の負担軽減と離職防止</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内の入居者状態を全館で共有できデータ分析ができる</li> <li>・職員の負担軽減と離職防止</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内の入居者状態を全館で共有できデータ分析ができる</li> <li>・職員の負担軽減と離職防止</li> </ul>
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<p>カメラとベッドセンサーの記録は職員がステーションにいなから入居者の状態把握ができ、介護時間の短縮や効率性、休憩時間の確保等の負担軽減に効果があるほか、入居者の行動前に訪室することで転倒防止やトイレ介助の支援ができる。</p> <p>今まで見えなかった居室内での行動歴等の情報が得られる事で、安心して暮らせる有効な手立てに繋がるケース記録の記載ができ、各種委員会等に活用できる。</p>

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
令和4年7月4日	導入及び機種選定計画の説明		リーダー会議
令和4年7月11日 ～8月26日	機種選定（意見聴取）と決定		介護リーダー 部長 管理者
令和4年9月5日 ～9月17日	活用方法、使用職員との確認 効果検証担当者を介護リーダーとする		各リーダー 部長 管理者
令和4年11月10日	リーダー会議で内示されたことを報告		リーダー会議
未定	デモ機借り入れ、目標確認、使用方法研修、検証確認		介護職 管理職
令和4年12月15日 令和4年12月25日 令和5年3月10日 令和5年3月28日	タブレット納品 無線LAN設置 みてるちゃん2納品 バイタルビーツ納品		業者
令和5年3月10日 令和5年3月28日	カメラ使用開始 バイタルビーツ使用開始		介護職

令和5年3月10日 ～5月31日	問題点と効果の検証		介護リーダー
令和5年6月1日 ～6月10日	業務改善の検討		リーダー会議
令和5年6月12日～	改善策の実施 検証確認→改善→実施の繰り返し		介護職

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム西田【事業所番号：0690100235】		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入時期] 令和4年12月1日 [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(1台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員と の導入意義の共有)	<p>入居者の中には認知症等で不穏要素がある入居者もいらっしゃいます。日中はスタッフも多いので、目が届くのですが夜間帯に関しては、お客様の居室内に入ってケアを行っている注視すべき入居者にも目が届きにくい状況です。その様な利用者には就寝時、センサーマット等で対応しているが「眠り SCAN」を使用出来れば離床する前の対応が可能となりスタッフの心身の負担もかなり軽減されると思います。あわせて「眠り SCAN eye」も導入できれば訪室の必要性も事前にわかり、不要な接触も避けられ、スタッフの負担も軽減されます。また、弊社他施設でも「平成29年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使い「眠り SCAN」を14台導入させて頂きました。導入した施設のスタッフからは「眠り SCAN 無しでは不安になる。」との声も上がっています。特に夜間時のスタッフの負担軽減が確認されております。導入後はスタッフからの希望があり、少しずつの増台を重ねて現在は全床に設置となりました。今回、当施設スタッフからも「眠り SCAN」導入希望の声も上がっており、まずは導入のきっかけとして今回3台導入していきたいと思います。今後は使用頻度とスタッフの慣れに伴い、増台も検討しています。</p> <p>昨今、県内でもコロナウイルスの感染者も増えており弊社グループの他施設でも入居者の感染も確認されております。以前は感染したら入院という流れでしたが、現在は施設での療養という事です。その際、スタッフの心身的な負担は計り知れないものです。今回「眠り SCAN」を導入できれば、万が一当施設でも入居者に感染者が発生した場合「眠り SCAN、眠り SCAN eye」を使用すれば感染者との不用意な接触も避けられて、スタッフの負担も軽減され感染拡大のリスクも軽減されるのかと思います。</p> <p>現在、介護ソフトを使用する Wi-Fi 環境はありますが、「眠り SCAN」を導入するにあたって、現在の環境に追加のアクセスポイントの増設が必要となってきます。またアクセスポイントの増設に伴い、ハブの入替なども必要となってきます。</p>		

<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>年度毎に数回、スタッフへのアンケート等のデータを取り、常に状況を検証する。また弊社は「眠りSCAN」を使用している施設も多いため、ユーザー施設が集まり定期的に社内勉強会を行っています。そこへの参加も行いながら導入の有効性を検証していきたい。</p> <p>また、先に導入している施設から使用方法の指導、データの分析の仕方など導入施設のスタッフへ運用方法の評価等を行っていき</p>

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
2021年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。		
2021年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。		
2021年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。		
2021年6月1日～ 2021年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。		
2021年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。		
2022年8月1日～ 2022年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。		
2022年12月1日～	交付決定後、すぐに発注。（予定）		
2023年1月1日～ 2026年3月31日	スタッフへアンケート調査（予定）		
2023年1月1日～	「眠りSCAN」勉強会への参加。（予定） （以前導入している眠りSCANユーザー施設が集まり、運用方法と情報交換会を定期的に行っているのので、その勉強会に参加）		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレホーム中桜田【事業所番号：0690100193】		
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護事業所	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入時期] 令和4年12月1日 [導入台数] 眠り SCAN(3台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(1台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員と の導入意義の共有)	<p>入居者の中には認知症等で不穏要素がある入居者もいらっしゃいます。日中はスタッフも多いので、目が届くのですが夜間帯に関しては、お客様の居室内に入ってケアを行っている注視すべき入居者にも目が届きにくい状況です。その様な利用者には就寝時、センサーマット等で対応しているが「眠り SCAN」を使用出来れば離床する前の対応が可能となりスタッフの心身の負担もかなり軽減されると思います。あわせて「眠り SCAN eye」も導入できれば訪室の必要性も事前にわかり、不要な接触も避けられ、スタッフの負担も軽減されます。また、弊社他施設でも「平成29年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使い「眠り SCAN」を14台導入させて頂きました。導入した施設のスタッフからは「眠り SCAN 無しでは不安になる。」との声も上がっています。特に夜間時のスタッフの負担軽減が確認されております。導入後はスタッフからの希望があり、少しずつの増台を重ねて現在は全床に設置となりました。今回、当施設スタッフからも「眠り SCAN」導入希望の声も上がっており、まずは導入のきっかけとして今回3台導入していきたいと思っております。今後は使用頻度とスタッフの慣れに伴い、増台も検討しています。</p> <p>昨今、県内でもコロナウイルスの感染者も増えており弊社グループの他施設でも入居者の感染も確認されております。以前は感染したら入院という流れでしたが、現在は施設での療養という事です。その際、スタッフの心身的な負担は計り知れないものです。今回「眠り SCAN」を導入できれば、万が一当施設でも入居者に感染者が発生した場合「眠り SCAN、眠り SCAN eye」を使用すれば感染者との不用意な接触も避けられて、スタッフの負担も軽減され感染拡大のリスクも軽減されるのかと思います。</p> <p>現在、介護ソフトを使用する Wi-Fi 環境はありますが、「眠り SCAN」を導入するにあたって、現在の環境に追加のアクセスポイントの増設が必要となってきます。またアクセスポイントの増設に伴い、ハブの入替なども必要となってきます。</p>		

<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>年度毎に数回、スタッフへのアンケート等のデータを取り、常に状況を検証する。また弊社は「眠りSCAN」を使用している施設も多いため、ユーザー施設が集まり定期的に社内勉強会を行っています。そこへの参加も行いながら導入の有効性を検証していきたい。</p> <p>また、先に導入している施設から使用方法の指導、データの分析の仕方など導入施設のスタッフへ運用方法の評価等を行っていき</p> <p>たい。</p>



### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
2021 年 4 月 1 日～	夜勤時不穏要素のある入居者 対応の問題検証。		
2021 年 10 月 1 日 ～	見守りロボットの検討開始と 機種選定。		
2021 年 10 月 1 日	社内他施設で使用している「眠り SCAN」の見学と 説明会。		
2021 年 6 月 1 日 ～ 2021 年 6 月 15 日	「眠り SCAN」デモ機を借り て試験利用。		
2021 年 6 月 20 日	スタッフへ聞き取りして機種 決定。「眠り SCAN」 参考見積を取る。		
2022 年 8 月 1 日 ～ 2022 年 8 月 29 日	補助金事前協議書の作成、提 出。		
2022 年 12 月 1 日 ～	交付決定後、すぐに発注。(予 定)		
2023 年 1 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日	スタッフへアンケート調査(予 定)		
2023 年 1 月 1 日 ～	「眠り SCAN」勉強会への参 加。(予定) (以前導入している眠り SCAN ユーザー施設が集まり、 運用方法と情報交換会を定期的 に行っているのので、 その勉強会に参加)		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ寒河江【事業所番号：0671200228】		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	46名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s [導入時期] 令和4年11月1日 [導入台数] 眠り SCAN(5台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(2台)、施設内ネットワークの構築(一式)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員と の導入意義の共有)	<p>入居者の中には認知症等で不穏要素がある入居者もいらっしゃいます。日中はスタッフも多いので、目が届くのですが夜間帯に関しては、お客様の居室内に入ってケアを行っている注視すべき入居者にも目が届きにくい状況です。その様な利用者には就寝時、センサーマット等で対応しているが「眠り SCAN」を使用出来れば離床する前の対応が可能となりスタッフの心身の負担もかなり軽減されると思います。あわせて「眠り SCAN eye」も導入できれば訪室の必要性も事前にわかり、不要な接触も避けられ、スタッフの負担も軽減されます。また、弊社他施設でも「平成29年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使い「眠り SCAN」を14台導入させて頂きました。導入した施設のスタッフからは「眠り SCAN 無しでは不安になる。」との声も上がっています。特に夜間時のスタッフの負担軽減が確認されております。導入後はスタッフからの希望があり、少しずつの増台を重ねて現在は全床に設置となりました。今回、当施設スタッフからも「眠り SCAN」導入希望の声も上がっており、まずは導入のきっかけとして今回3台導入していきたいと思っております。今後は使用頻度とスタッフの慣れに伴い、増台も検討しています。</p> <p>昨今、県内でもコロナウイルスの感染者も増えており弊社グループの他施設でも入居者の感染も確認されております。以前は感染したら入院という流れでしたが、現在は施設での療養という事です。その際、スタッフの心身的な負担は計り知れないものです。今回「眠り SCAN」を導入できれば、万が一当施設でも入居者に感染者が発生した場合「眠り SCAN、眠り SCAN eye」を使用すれば感染者との不用意な接触も避けられて、スタッフの負担も軽減され感染拡大のリスクも軽減されるのかと思います。</p> <p>現在、介護ソフトを使用する Wi-Fi 環境はありますが、「眠り SCAN」を導入するにあたって、現在の環境に追加のアクセスポイントの増設が必要となってきます。またアクセスポイントの増設に伴い、ハブの入替なども必要となってきます。</p>		

<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>年度毎に数回、スタッフへのアンケート等のデータを取り、常に状況を検証する。また弊社は「眠りSCAN」を使用している施設も多いため、ユーザー施設が集まり定期的に社内勉強会を行っています。そこへの参加も行いながら導入の有効性を検証していきたい。</p> <p>また、先に導入している施設から使用方法の指導、データの分析の仕方など導入施設のスタッフへ運用方法の評価等を行っていき</p>

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
2021年4月1日～	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題検証。		
2021年10月1日～	見守りロボットの検討開始と機種選定。		
2021年10月1日	社内他施設で使用している「眠りSCAN」の見学と説明会。		
2021年6月1日～ 2021年6月15日	「眠りSCAN」デモ機を借りて試験利用。		
2021年6月20日	スタッフへ聞き取りして機種決定。「眠りSCAN」参考見積を取る。		
2022年8月1日～ 2022年8月29日	補助金事前協議書の作成、提出。		
2022年12月1日～	交付決定後、すぐに発注。（予定）		
2023年1月1日～ 2026年3月31日	スタッフへアンケート調査（予定）		
2023年1月1日～	「眠りSCAN」勉強会への参加。（予定） （以前導入している眠りSCANユーザー施設が集まり、運用方法と情報交換会を定期的に行っているのので、その勉強会に参加）		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ吉原【事業所番号：0670101781】		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、arrows BZ02、ThinkCentre M70s</p> <p>[導入時期] 令和4年12月1日</p> <p>[導入台数] 眠り SCAN(4台)、眠り SCAN eye(1台)、PC(1台) スマホ(2台)、施設内ネットワークの構築(一式)</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	<p>入居者の中には認知症等で不穏要素がある入居者もいらっしゃいます。日中はスタッフも多いので、目が届くのですが夜間帯に関しては、お客様の居室内に入ってケアを行っている注視すべき入居者にも目が届きにくい状況です。その様な利用者には就寝時、センサーマット等に対応しているが「眠り SCAN」を使用出来れば離床する前の対応が可能となりスタッフの心身の負担もかなり軽減されると思います。あわせて「眠り SCAN eye」も導入できれば訪室の必要性も事前にわかり、不要な接触も避けられ、スタッフの負担も軽減されます。また、弊社他施設でも「平成29年度福工連携による安心介護モデル創出事業費補助金」を使い「眠り SCAN」を14台導入させて頂きました。導入した施設のスタッフからは「眠り SCAN 無しでは不安になる。」との声も上がっています。特に夜間時のスタッフの負担軽減が確認されております。導入後はスタッフからの希望があり、少しずつの増台を重ねて現在は全床に設置となりました。今回、当施設スタッフからも「眠り SCAN」導入希望の声も上がっており、まずは導入のきっかけとして今回3台導入していきたいと思います。今後は使用頻度とスタッフの慣れに伴い、増台も検討しています。</p> <p>昨今、県内でもコロナウイルスの感染者も増えており弊社グループの他施設でも入居者の感染も確認されております。以前は感染したら入院という流れでしたが、現在は施設での療養という事ようです。その際、スタッフの心身的な負担は計り知れないものです。今回「眠り SCAN」を導入できれば、万が一当施設でも入居者に感染者が発生した場合「眠り SCAN、眠り SCAN eye」を使用すれば感染者との不用意な接触も避けられて、スタッフの負担も軽減され感染拡大のリスクも軽減されるのかと思います。</p> <p>現在、介護ソフトを使用する Wi-Fi 環境はありますが、「眠り SCAN」を導入するにあたって、現在の環境に追加のアクセスポイントの増設が必要となってきます。またアクセスポイントの増設に伴い、ハブの入替なども必要となってきます。</p>		

<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> </ul>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。</li> <li>・利用者の睡眠状況の管理により、健康の管理。</li> <li>・訪室の回数も減るのでコロナ等の感染症の感染拡大の予防</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>年度毎に数回、スタッフへのアンケート等のデータを取り、常に状況を検証する。また弊社は「眠りSCAN」を使用している施設も多いため、ユーザー施設が集まり定期的に社内勉強会を行っています。そこへの参加も行いながら導入の有効性を検証していきたい。</p> <p>また、先に導入している施設から使用方法の指導、データの分析の仕方など導入施設のスタッフへ運用方法の評価等を行ってきたい。</p>

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 天童福祉厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム明幸園 【事業所番号：0671600237】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[介護ロボット製品名] 眠りスキャン（パラマウントベッド株式会社） 導入台数 20台 [通信環境整備製品名] Wi-Fi 工事 インカム（ティービーアイ） 導入台数 10機 [導入時期] 令和5年3月1日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要（現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有）	<p>現在、課題として挙げられるのは、①介護従事者の身体的・心理的な負担の解消、②離職者の減少、③ご利用者のケアの質の維持、この3点です。特に夜間帯はスタッフ配置数が少ないため、行き届いた支援やタイムリーな支援を行うには、スタッフの献身的な働きに頼らざるを得ないのが実情です。また、夜間のスタッフ間情報共有についても内線電話を用いることから、迅速さを欠く状況が常態化しています。上記機器を活用することでご利用者の睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターで把握でき、安眠を妨げることのない見守りと、待たせることのない支援が可能になります。また、体調変化の早期察知は、看取り期介護にも大いに活用できると考えています。更にインカム等で素早く情報共有を図ることで業務負担を軽減し、ひいては人員体制や支援の効率化に繋がれると期待しています。</p> <p>当施設はユニット型特養で1ユニット10室としておりますので、各ユニット2台ずつの計20台が妥当と考えています。ユニット毎に複数台準備することで、施設で積極的に取り組んでいる看取り介護の実践にも導入が可能です。</p> <p>介護の仕事の最大の特徴は“待つこと”にあります。支援を必要とするご利用者の訴えや動き、食事や排せつなどの生活行為に合わせて、“待たせること”なく支援することが優れたケアには不可欠です。そういった望ましい介護環境を追求するためには、介護ロボットやICT技術の導入等によりマンパワーを補填し強化することが時代に即した一つの在り方ではないかと考え、私たちはこれまで委員会を立ち上げるなど検討を重ね、導入に向けての準備を進めてきました。</p>		

<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入に伴う職員研修やマニュアル等を作成し、機器操作の習熟を図り、日常業務に取り込みます。</li> <li>・ ご利用者の眠りの状態に合わせてケアを行います。特に入居後間もない方の睡眠データを活用し、安眠を妨げない個別ケアの実践、転倒などのリスクヘッジに努めます。</li> <li>・ 看取り介護場面では状態変化にあわせて見守り、訪室できるように機器を活用し、付き添い家族の不安軽減を図っていきます。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年実績を踏まえて検証を行い、昼夜を問わず、より効果的な活用を図ります。</li> <li>・ 睡眠データを活用して、個別援助計画の質の向上を目指します。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護ロボット導入成功要因を実証データなどを踏まえ再検証し、更なる機器導入・拡充を検討します。</li> <li>・ 眠りの見える化をすすめ夜間見守りのオペレーションを改善し、介護・業務負担の軽減と効率化を図ります。</li> </ul>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者の睡眠の質を高めることが期待されます。また、眠りの深さをモニターできることで動き出しの予測が可能になり、転倒や転落事故のリスクは大きく軽減します。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 睡眠データの集約と分析、効果的な実践が浸透し、個別ケアの水準が高まることを期待しています。ご利用者の生活を改善することが、介護従事者の安心確保、負担軽減を図るための第一歩です。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護従事者の心理的、身体的負担を軽減することで労務環境の改善を図り、離職率低減と平均勤続年数の長期化が期待されます。</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果検証のための委員会を立ち上げ、導入事例の振り返りを行います。</li> <li>・ インシデント事例、アクシデント事例の集計と検証を行います。</li> <li>・ ご利用者の睡眠の質改善について測定データに基づいて検証を行います。また、睡眠導入剤などの投薬効果、減薬事例の有無、不眠解消事例等の情報共有を図ります。</li> </ul>



### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
2023年1月23日 ～2023年1月27日	導入打ち合わせ。 管理ユニットおよび設置位置確認。		
2023年2月6日 ～2023年2月10日	施設内無線状況 LAN 配線状況確認。 現行接続 IP アドレスの確認、電源状況の 確認。		
2023年2月13日 ～2023年2月17日	無線 LAN 配線工事の実施。		
2023年2月20日 ～2023年2月24日	眠りスキャン等装置導入・通信確認。 ソフトインストール作業・サーバー設置 作業。		
2023年2月27日 ～2023年2月28日	勤務形態に合わせて、取扱い説明を2日 間で実施予定。 運用例、インシデント対策等。		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 遊作厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム中河のぞみ型 【事業所番号: 067320053】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマート・ナースコール あんしん9絆 (2ニテ1-ネットワーク) [導入時期] 令和5年/月20日 [導入台数] 一式		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員との 導入意義の共有)	2ニテ1ナースコール更新を今年度と決定した理由は2つある。 1つ目は、2022年12月1日より電波法が改正になるということ。これは、コロナ感染の拡大により、施行が延期される見込みだが、いづれ改正されることを考慮。 2つ目は、転倒や危険な行動の際に、ナースコールの反応が良く、音声画面も見やすく、見守りに適しているということ。転倒やケガが減少することで、職員の精神的、身体的負担を軽減し、職員の離職防止につなげていきたい。		
機器を導入することにより 達成する目標 (機器導入の 翌年から3年間、年度毎)	○導入後 (翌年) 1年目 新しくな、ナースコール機器の機能を理解し、有効的に活用することができる。 ○2年目 転倒や危険行為に対して早目の対応ができる。ケガや事故が減少することで、職員の精神的、身体的負担の軽減ができる。 ○3年目 転倒や危険行為を予防できるようになり、個別ケアが計画に沿って進めることができる。また、職員の意欲向上が期待できる。		
期待される効果等	○導入後 (翌年) 1年目 ナースコール機器の機能を理解し、入所者の見守りを徹底し、重複したコールは、優先順位を正確に判断できる。 ○2年目 見守りにより転倒や危険行為に対して、早目の対応ができるようになり、ケガ等による通院の頻度が減少する。 ○3年目 職員の仕事に対する意欲と入所者のQOLが向上し、離職が減少する。		
効果検証の方法 (効果に関する データを客観的な評価指標に 基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等		

### 3 事業・導入スケジュール

期間 (予定)	内 容	経費概要	備考
R3年 10月 21日 ～ 年 月 日	トスコール更新にかかる会議 導入に向けたスケジュールを確認	0	
R3. 10. 26. R3. 11. 8.	トスコール業者よりプレゼン (1社) " (2社)	0	
R3. 11. 16.	第2回会議 プレゼンを受け2検討	0	
R3. 12. 10	介護課長の他、介護職員4名 先進地視察	0	
R3. 12. 23.	第3回会議 機種選定	0	
R4. 4. 1.	管理責任者へ施設長とし、設置ル ール、利用者へ同意書案を作成	0	プライバシーに 留意
R4. 8. 10	wifi設置業者、トスコール取扱い 業者、施設担当者との間で打ち合 せと申し送り	0	
R4. 9. 28	第3回 理事会に議案を提出 承認を受ける	0	
R4. 10. 1 ～ R4. 10. 31	家族への説明文書、配布個 別計画で策定し同意書をと下く	0	
R5. 1. 20 ～ R5. 2. 15	機器導入予定、設置工事、と 着工		
R5. 2. 16 ～ R5. 2. 20	メーカーより職員向け説明会 トスコール機能の習熟	0	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備 (導入・活用・効果検証の各担当者)、エ実際に機器を使用する者 (介護職員等) の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画 (マニュアル整備等)、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討 (実績報告から3年目までの取組)

### 3 事業・導入スケジュール

期間 (予定)	内 容	経費概要	備考
R5年 2月 1日 ~ R5年 4月 10日	運用上の問題点を1ヶ月後にヒアリング、改善計画を立て実行。	0	
R5. 7. 10 ~ R6. 1. 31	QOLの向上について家族からの意見を参考し見直しを行う。	0	
R6. 2. 1 ~ R6. 9 31	利用者への行動や生活リズムを把握、記録と検証。	0	
R6. 10. 1 ~ R7. 3. 31	利用者への個別ケアの見直し、介護看護職員への情報共有。	0	
R7. 4. 1 ~ R8. 3. 31	利用者への個別ケアの実現を図らねばならぬ、家族への要望の把握。	0	


※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）



2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 遊佐厚生会 		
事業所名	ショートステイ ゆうすい ユニット型 【事業所番号: 0673200515】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	5名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] スマート・T-スコール あんしん糸絆 (ユニティネットワーク) [導入時期] 令和4年1月20日 [導入台数] 一式		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月 ~ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	T-スコール更新も今年度と決定した理由は2つ、 1つ目は、2022年12月1日より電波法が改正になること、コロナ感 染拡大により施行が延期されているが、いづれ改正される事を考慮、 2つ目は、転倒や危険な行動の際、T-スコールの反応が良く、両 面も見やすく、見守りに適している。転倒やケガが減少することで 職員が精神的・身体的負担を軽減し、職員が離職防止につ ながることができる。		
機器を導入することにより達成する目標 (機器導入の翌年から3年間、年度毎)	○導入後 (翌年) 1年目 新しくなった T-スコール機器の機能を理解し、有効的に活用することができる。 ○2年目 転倒や危険行為に対して、早期の対応ができるようになる。ケガや処置が減少する事で、職員が精神的・身体的負担を軽減できる。 ○3年目 転倒や危険行為を予防できるようになり、個別ケアが計画に沿って進めることができる。また、職員が意欲向上が期待できる。		
期待される効果等	○導入後 (翌年) 1年目 T-スコール機器の機能を理解し、入所者の見守りを徹底し、重複したコールは、優先順位を正確に判断できる。 ○2年目 見守りにより、転倒や危険行動に対して、早期の対応が出来るようになる。ケガ等による通院の頻度が減少する。 ○3年目 職員の仕事に対する意欲と入所者のQOLが向上し、離職が減少する。また、事業所の目標稼働率を維持できる。		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等		

### 3 事業・導入スケジュール

期間 (予定)	内 容	経費概要	備考
R3年10月21日 ～ 年 月 日	トスコル更新にかかる会議 導入向けスケジュールを確認	0	
R3. 10. 26 R3. 11. 8	トスコル業者よりプレゼン(1社) " (2社)	0	
R3. 11. 16	第2回会議 プレゼンを受け検討	0	
R3. 12. 10	介護課長他、介護職員4名 先進地視察	0	
R3. 12. 23	第2回会議 機種選定	0	
R4. 4. 1	管理責任者と施設長とし、設 置ルール、利用者より同意書案を作成	0	プライベートに 留意
R4. 8. 10	wi-fi設置業者、トスコル取扱 業者、施設担当者との間で打合 せと申し送り	0	
R4. 9. 28	第3回理事会に議案を提 出し承認を受ける	0	
R4. 10. 1 ～ R4. 10. 31	家族への説明文書の配布、個別 計画を算定し同意書をといただく	0	
R5. 1. 20 ～ R5. 2. 15	機器導入予定、設置工事に 着工		
R5. 2. 16 ～ R5. 2. 20	メーカーより職員向け説明会 トスコル機能の習熟	0	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

### 3 事業・導入スケジュール

期間 (予定)	内 容	経費概要	備考
R5年 3月 1日 ~ R5年 4月 10日	運用上の問題点を1ヶ月後に ヒヤリング"改善計画"を立て実行.	0	
R5. 7. 10. ~ R6. 1. 31	QOLの向上について家族から の意見を参考に、見直しを行う.	0	
R6. 2. 1 ~ R6. 9. 31	利用者の行動や生活リズムを 把握・記録・検証.	0	
R6. 10. 1 ~ R7. 3. 31	利用者の個別ケアの見直し. 介護・看護職員の情報の共有.	0	
R7. 4. 1 ~ R8. 3. 31	利用者の個別ケアの実践が図 られているか、家族の要望の把握.	0	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 碧水会		
事業所名	特別養護老人ホームらふらんす大江 【事業所番号：0672300308】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	92
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名] ○メーカー (株) バイオシルバー製 aams. 介護本体 DO18-AAMSK 20 台 NC ケーブル CC14 BO15-BSR03NCC 20 本 分配器 WELLS タイプ BB-301WZ-2P/W6P-NC 20 台 介護用感圧センサー B018-PSS01 10 台 AXIS 製ネットワークカメラ (無線) M1065-LW 10 台 ネットワークカメラ用 SD カード AXIS 純正 10 枚 タブレット PC-T1175BAS 4 台 管理マスターサーバー L11-20NUCMS03 1 台 設定・設置費 1 式 [導入時期] 令和4年12月1日 [導入台数] 20 台  ○メーカー (株) バッファロー製 法人向け管理者機能搭載無線アクセスポイント WAPM-1266R 37 台 レイヤー2GigaPoE スマートスイッチ 8ポート BS-GS2008P 3 台 レイヤー2GigaPoE スマートスイッチ 16ポート BS-GS2016P 4 台 ネットワーク工事費 1 式 キットアップ作業着 1 式  [導入時期] 令和4年12月1日 [導入台数] 1 式		
	購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)	
事業概要 (現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	夜間時に、ナースコールの呼び出しに、すぐに対応することができず、転倒などの事故の件数が多く発生していた。その他、看取り期の方に対して、状態の変化には、定期的な見守りでしか対応できず、緊急時には不十分であった。(いつ事故がおきるか職員の心理的不安が多かった。) 今回、上記の状態を通信機器 (Wi-Fi) と、ロボット機器 (センサーマット)、映像カメラ及びタブレット等を導入することにより、利用者のバイタルチェックを、映像と記録で科学的に判断することができ、効率的介護やアラート発生時の居室の様子の映像を確認でき緊急性があるか瞬時の判断をすることができる。そのうえ看取り期においても家族にデータや映像で説明することで、職員と家族との信頼関係も深まり、科学的な介護と家族へのよりスムーズな説明が可能で、職員の不安を解消、強いては働きやすい職場環境の改善につながり離職率に低下が期待できる。		



<p>機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)</p>	<p>○導入後(翌年)1年目 利用者の見守り、特に夜間時の利用者の情報把握。</p> <p>○2年目 1年目で得られた情報を基に各職員の共通情報として各職員のスキルの標準化を図る。</p> <p>○3年目 2年目迄に得られた情報を基に今後の新しく入所される対応のスタンダード化し職員の働きやすい環境整備。</p>
<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後(翌年)1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤時の見守りの効率化。</li> <li>・転倒リスクの回避。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人手不足の解消。</li> <li>・離職者の低下。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の人手不足の解消。</li> <li>・時間外手当の削減。</li> </ul>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>○利用者の急な状態変化をアラート通知され、また毎日の睡眠状態の記録を残すことも出来るため、体調・生活状況の管理を強化でき個別のケアが実現可能。</p> <p>○データを基に日々の状況をご家族様へ報告することも可能。</p> <p>○モニターで状態確認ができるため、夜間時の訪室業務の負担軽減、介護者のストレス軽減。</p> <p>○対象者の状態を理解することにより、必要な措置・サービス提供を素早く判断でき、介護サービス提供の目的・行動が明確になり労働意欲が増す。</p> <p>○アラート発生時の居室の様子を映像で確認でき、緊急性があるかどうか瞬時に確認できて、職員の不安を解消できる。</p> <p>○頻繁に居室に訪問する必要がなくなり、感染症の拡散防止や、業務の効率化は図れる。</p> <p>○機器で取得したデータをご家族とも共有することで、言葉だけの説明でなく、より具体的なデータを示すことで理解しやすく、信頼関係も築ける。</p> <p>○映像、記録データを保存するデジタル化により、効率的に時間を費やすことができ、日誌等の記録も一元化につながり、他の介護業務に時間かけることができる。</p>

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	備考
R4年6月1日 ～R4年8月23日	<p>担当者会議及び主任会議にて業務状況の確認と問題点の洗い出しを行った。</p> <p>特に夜間の見守り負担が大きく肉体的より精神的負担増。予期せぬ行動をされる方、転倒・転落リスクの高い方のヒヤリハットの対策が必要。</p>	
R4年6月1日 ～R4年8月23日	<p>機種選定・導入計画の検討を行った結果、見守り介護ロボットを導入し利用者の心拍・呼吸・体動・睡眠状態を確認できる機種とする。また、見守り介護ロボットと連動するカメラと離床センサーを併用し、転倒リスクが高い方はプライバシーを考慮しながらタブレットで利用者の状況を瞬時に把握できるようにする。また記録も残すことで検証が可能になり解決策の検討に役立てる。</p>	
R4年6月1日 ～R4年8月23日	<p>導入担当者は事務局長が行い、ターミナル期の方・体調を崩された方・転倒リスクが高い方・入所されたばかりの方をメインに使用し、バイタル状況の把握と行動把握により必要な措置・サービス提供を素早く判断する。</p> <p>効果検証の各担当者は総括主任及び主任が担当し定期的な報告会をもって情報共有・課題検討を行う。</p>	
R4年6月1日 ～R4年8月23日	<p>実際に機器を使用する者の意見聴取方法は、各棟のミーティング内で行い、介護ロボットに関する報告書も検討する。</p>	
R4年12月1日 ～R4年12月31日	<p>交付決定後、Wi-Fi工事及び導入機器の発注を行う。</p> <p>Wi-Fi工事が完了次第、見守り介護ロボットを導入し、ランニング（調整）を行う。</p>	
R5年1月1日 ～R5年1月31日	<p>導入後、メーカーによる研修会を数回に分けて行い関係する職員が参加できるようにして習熟する。マニュアル整備を行い、メーカーのお客様窓口のサポートも活用する。</p>	
R5年1月1日 ～R5年1月31日	<p>見守り機器で得られた状態変化の通知や睡眠状態の記録から利用者の体調・生活状況の管理を強化し個別ケアに繋げる。夜間の訪室業務の負担軽減、介護者の先進的ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境の構築を目指す。</p>	
R6年4月末日 ～R8年4月末日	<p>効果の検証を毎年行い、業務状況の確認と問題点を洗い出し、見守り介護ロボットのメリットを最大限活かすための使用計画を検討・修正する。</p>	
R6年4月末日 ～R8年4月末日	<p>効果検証に基づき業務改善の取り組みを検討する。</p> <p>1年目：利用者の見守り、特に夜間時の利用者の情報把握並びに転倒・転落事故を未然に防ぐ体制作り</p> <p>2年目：1年目で得られた情報を元に各職員の共通情報として各職員のスキルの標準化を図る。データを活用した見守り体制作り。</p> <p>3年目：2年目迄に得られた情報を基に職員の訪室業務の負担軽減・ストレス軽減に繋げ安心して就業できる職場環境を構築する。</p>	

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0673200119】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	16名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 離床センサー（10台）ネットワークカメラ（16台）管理サーバ スマートフォン（6台）ビューワPC（1台）Wi-Fiゲートウェイ（1 台）接続変換機（離床センサー）（10台）HUB(5ポート)（1台） ワイヤレスインターフェースボックス（10台）ビューワPCディス プレイ（1台）レピーター（1台）PoEスプリッタ（16個）マット センサーコネクタプラグ（10台） HUB(16ポート/内PoE16ポート)（1台） 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年2月末 [導入台数]</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有）	<p>現在、利用者の見守り支援には人感センサー、起き上がりセンサー等を使用し転倒転落の未然防止を行っているが、その都度確認し訪室する為、防げる事故も間に合わないケースや、職員の見守り業務の負担になっている。また夜間帯は少人数で見守り業務を行なっているため、職員のストレス緩和や不安軽減の必要性があり、ナースコール連動型見守り機器を新規導入し、居室内に見守りカメラを設置し、訪室する前に安全確認ができる見守り支援を行い、職員の負担軽減を図り、未然防止策が徹底できるよう活用したい。また、ベッド上でも身体の異常を速やかに感知するバイタルセンサーに連動させ、看取りの方の対応にも活用したいと考えます。</p>		
機器を導入することにより達成する目標（機器導入の翌年から3年間、年度毎）	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用方法など職員の勉強会を行う。</li> <li>・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。</li> <li>・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り機器を導入することで、利用者のADLが確認され、よりの確な介護記録ができるようにする。</li> <li>・使用状況の聞き取りを行い業務の見直しによる効率化につながるようにする。</li> <li>・状態変化や看取り時の迅速な対応ができるようにする。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい見守りシステムにより、効率よくご利用者の安全確認ができるようにすると共に、リスク軽減や職員の不安軽減と情報の共有、人材確保に努める。</li> <li>・ご利用者の体調など適切な記録を残しご家族様の安心に努める。</li> </ul>		

期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室にカメラ導入となり不要に訪室しないことによって、利用者の羞恥心や精神面等への配慮が行える。また利用者の夜間の安眠にも繋がる。</li> <li>・万が一転倒などが起きた際も、カメラの記録から検討内容が明確に読み取れ、対策がとれる。</li> <li>・不必要な訪室が軽減され、感染症対策ができています。</li> <li>・職員の負担・不安・ストレスの軽減ができています。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化による業務改善ができています。</li> <li>・看取りケアの強化ができています。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新機種を有効活用し事故防止に繋がられている。</li> <li>・職員の心身面の負担を軽減し働きやすい職場ができています。</li> </ul>
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員へ使用状況のアンケートを行う。（使用前、使用後の違い）</li> <li>・見守りカメラやセンサー等を活用した事故発生時のデータを取りまとめ、検証を行う。</li> </ul>

## 2 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	備考
令和元年 9月13日 ～元年 10月14日	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。またPHSなど連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。</p> <p>第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。</p> <p>第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。</p> <p>R 元.10.15～3ヶ月</p>	
令和2年 1月17日 ～2年 11月6日	<p>令和2年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11 山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う</p> <p>第二回</p>	

	<p>多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。</p> <p>※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施</p> <p>第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できることが明確になった。</p>	
令和3年1月20日 ～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi 設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi 工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi 設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14 業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	
令和3年9月1日	<p>令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。</p>	
令和3年10月～ 12月末	<p>補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。</p>	
令和4年3月1日	<p>施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。</p>	
令和4年7月末	<p>令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。</p>	

令和4年9月～ 令和5年1月末	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	
令和5年2月末	工事完了。	
令和5年3月～ 3月末	職員へ機器操作勉強会を行う。	
令和5年4月～ 令和6年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 見守り機器導入により、カメラの記録から介護事故検討対策を明確にし対応する。	
令和7年4月～ 令和8年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 職員の使用状況を把握し、業務や心身面の疲労度確認、課題について対策を検討。 業務の効率化に伴い、ご利用者との関わりについてADL状況の観察により個人に応じた介護等の見直し。	
令和8年4月～ 令和9年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 ご利用者の安全確認の効率性、介護事故の軽減や体調変化時の対応状況の確認と改善。 働きやすい職場環境と人材確保の検証。	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(従来型) 【事業所番号:0673200267】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	36名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 バイタルセンサー(1台) 離床センサー(15台) ビューワPC(2台) スマートフォン(10台) ネットワークカメラ(36台) 管理サーバー Wi-Fi ゲートウェイ(2台) 接続変換機(離床センサー)(15台) ワイヤレスインターフェースボックス(15台) ビューワPC ディスプレイ(2台) レピーター(2台) PoE スプリッタ(37個) マットセンサーコネクタプラグ(15台) HUB(24ポート/内PoE 24ポート)(1台) HUB(16ポート/内PoE 16ポート)(1台) 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年2月末 [導入台数]</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年月)		
事業概要(現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	<p>現在、利用者の見守り支援には人感センサー、起き上がりセンサー等を使用し転倒転落の未然防止を行っているが、その都度確認し訪室する為、防げる事故も間に合わないケースや、職員の見守り業務の負担になっている。また夜間帯は少人数で見守り業務を行なっているため、職員のストレス緩和や不安軽減の必要性があり、ナースコール連動型見守り機器を新規導入し、居室内に見守りカメラを設置し、訪室する前に安全確認ができる見守り支援を行い、職員の負担軽減を図り、未然防止策が徹底できるよう活用したい。また、ベッド上でも身体の異常を速やかに感知するバイタルセンサーに連動させ、看取りの方の対応にも活用したいと考えます。</p>		
機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)	<p>○導入後(翌年)1年目 ・使用方法など職員の勉強会を行う。 ・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。 ・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討する。</p> <p>○2年目 ・見守り機器を導入することで、利用者のADLが確認され、よりの確な介護記録ができるようにする。 ・使用状況の聞き取りを行い業務の見直しによる効率化につながるようにする。 ・状態変化や看取り時の迅速な対応ができるようにする。</p> <p>○3年目 ・新しい見守りシステムにより、効率よくご利用者の安全確認ができるようにすると共に、リスク軽減や職員の不安軽減と情報の</p>		

	<p>共有、人材確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の体調など適切な記録を残しご家族様の安心に努める。</li> </ul>
期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室にカメラ導入となり不要に訪室しないことによって、利用者の羞恥心や精神面等への配慮が行える。また利用者の夜間の安眠にも繋がる。</li> <li>・万が一転倒などが起きた際も、カメラの記録から検討内容が明確に読み取れ、対策がとれる。</li> <li>・不必要な訪室が軽減され、感染症対策ができています。</li> <li>・職員の負担・不安・ストレスの軽減ができています。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化による業務改善ができています。</li> <li>・看取りケアの強化ができています。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新機種を有効活用し事故防止に繋がっている。</li> <li>・職員の心身面の負担を軽減し働きやすい職場ができています。</li> </ul>
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員へ使用状況のアンケートを行う。（使用前、使用後の違い）</li> <li>・見守りカメラやセンサー等を活用した事故発生時のデータを取りまとめ、検証を行う。</li> </ul>

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	備考
令和元年9月13日 ～元年10月14日	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回</p> <p>夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。またPHSなど連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。</p> <p>※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。</p>	



	<p>第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。</p> <p>第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。</p> <p>R元.10.15～3ヶ月</p>	
<p>令和2年1月17日 ～2年11月6日</p>	<p>令和2年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う</p> <p>第二回 多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。 ※R2.10/28.29.30.11/2に職員説明会実施</p> <p>第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できることが明確になった。</p>	
<p>令和3年1月20日 ～3年8月12日</p>	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設へ出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積</p>	

	もりを依頼する。	
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	
令和3年10月～ 12月末	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	
令和4年7月末	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	
令和4年9月～ 令和5年1月末	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	
令和5年2月末	工事完了。	
令和5年3月～ 3月末	職員へ機器操作勉強会を行う。	
令和5年4月～ 令和6年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 見守り機器導入により、カメラの記録から介護事故検討対策を明確にし対応する。	
令和6年4月～ 令和7年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 職員の使用状況を把握し、業務や心身面の疲労度確認、課題について対策を検討。 業務の効率化に伴い、ご利用者との関わりについてADL状況の観察により個人に応じた介護等の見直し。	
令和7年4月～ 令和8年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 ご利用者の安全確認の効率性、介護事故の軽減や体調変化時の対応状況の確認と改善。 働きやすい職場環境と人材確保の検証。	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0673200119】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	16名
介護ロボットの製品名 通信環境整備の製品名 導入時期及び台数	[製品名]見守りカメラ連動式無線ナースコールあんしんの絆 離床センサー（10台）ネットワークカメラ（16台）管理サーバー スマートフォン（6台）ビューワPC（1台）Wi-Fiゲートウェイ（1 台）接続変換機（離床センサー）（10台）HUB(5ポート)（1台） ワイヤレスインターフェースボックス（10台）ビューワPCディス プレイ（1台）レピーター（1台）PoEスプリッタ（16個）マット センサーコネクタプラグ（10台） HUB(16ポート/内PoE16ポート)（1台） 見守り機器通信環境整備一式 [導入時期] 令和5年2月末 [導入台数]		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（現在の問題 点・導入台数の妥当性・ 職員との導入意義の共 有）	現在、利用者の見守り支援には人感センサー、起き上がりセンサー 等を使用し転倒転落の未然防止を行っているが、その都度確認し訪 室する為、防げる事故も間に合わないケースや、職員の見守り業務 の負担になっている。また夜間帯は少人数で見守り業務を行なっ ているため、職員のストレス緩和や不安軽減の必要性があり、ナース コール連動型見守り機器を新規導入し、居室内に見守りカメラを設 置し、訪室する前に安全確認ができる見守り支援を行い、職員の負 担軽減を図り、未然防止策が徹底できるよう活用したい。また、ベ ッド上でも身体の異常を速やかに感知するバイタルセンサーに連動 させ、看取りの方の対応にも活用したいと考えます。		
機器を導入すること により達成する目標（機器 導入の翌年から3年間、 年度毎）	○導入後（翌年）1年目 ・使用方法など職員の勉強会を行う。 ・カメラ作動時の記録や様子を共有し、事故、危険防止に繋げる。 ・新機種導入後に負担軽減の有無について聞き取りを行い検討す る。 ○2年目 ・見守り機器を導入することで、利用者のADLが確認され、よりの 確な介護記録ができるようにする。 ・使用状況の聞き取りを行い業務の見直しによる効率化につながる ようにする。 ・状態変化や看取り時の迅速な対応ができるようにする。 ○3年目 ・新しい見守りシステムにより、効率よくご利用者の安全確認がで けるようにすると共に、リスク軽減や職員の不安軽減と情報の共有、 人材確保に努める。 ・ご利用者の体調など適切な記録を残しご家族様の安心に努める。		

期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室にカメラ導入となり不要に訪室しないことによって、利用者の羞恥心や精神面等への配慮が行える。また利用者の夜間の安眠にも繋がる。</li> <li>・万が一転倒などが起きた際も、カメラの記録から検討内容が明確に読み取れ、対策がとれる。</li> <li>・不必要な訪室が軽減され、感染症対策ができています。</li> <li>・職員の負担・不安・ストレスの軽減ができています。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化による業務改善ができています。</li> <li>・看取りケアの強化ができています。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新機種を有効活用し事故防止に繋がられている。</li> <li>・職員の心身面の負担を軽減し働きやすい職場ができています。</li> </ul>
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員へ使用状況のアンケートを行う。（使用前、使用後の違い）</li> <li>・見守りカメラやセンサー等を活用した事故発生時のデータを取りまとめ、検証を行う。</li> </ul>

## 2 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	備考
令和元年9月13日 ～元年10月14日	<p>福祉機器導入検討委員会発足 令和元年福祉機器導入委員会について 第一回 夜間帯の事故が多く、職員の不安軽減になるような見守りセンサー等について。またPHSなど連動し何処で鳴っているか手元でわかり、職員間の連絡もスムーズに行える機器を希望したいなど意見が出た。 ※職員へ福祉機器導入についてアンケート実施。 第二回 アンケート結果について、職員の要望等の把握を行い検討。また最新の福祉機器導入施設へ出向き見学等の案もでた。 第三回 職員研修旅行で福祉機器メーカーのイベントへ参加した職員より、ナースコール連動型見守り機器がありその資料を集める。 R元.10.15～3ヶ月</p>	
令和2年1月17日 ～2年11月6日	<p>令和2年福祉機器導入委員会について 第一回 ナースコール連動型見守り機器使用調査の結果報告。 12/11山形福祉機器展に全委員が視察し様々な機器の説明を受けた。それに伴い導入福祉機器の検討を行う 第二回</p>	

	<p>多くの福祉機器が存在しているため、機器の説明会を行いアンケート調査により機器を選定する。</p> <p>※R2.10/28.29.30.11/2 に職員説明会実施</p> <p>第三回 福祉機器導入職員説明会についての報告。 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援、介護業務支援、見守り機器導入に伴う通信環境整備、ICT 機器について商品説明を行った。 職員アンケート結果についての報告。 アンケートを行い、現場で働く介護職員が福祉機器を導入することで、仕事や心身の負担軽減や改善できることが明確になった。</p>	
令和3年1月20日 ～3年8月12日	<p>令和3年福祉機器導入委員会について</p> <p>第一回 LAN配線工事についての報告。 Wi-Fi 設定についての報告。</p> <p>第二回 Wi-Fi 工事等の進行状況について報告。</p> <p>第三回 Wi-Fi 設備が整い今年度導入する方向性とする。 ※福祉機器を絞り見積もりを依頼。 ※R3.5/20.7/7.14 業者よりリモート説明会実施する。 「眠りscan」「ココヘルパー」「安心の絆」 7/20「あんしんの絆」使用施設に出向き使用状況や設置に関することを直接伺い、また実際現場での使用状況の見学を行う。</p> <p>第四回 福祉機器使用施設見学の報告及び導入器機の最終選定。 「あんしんの絆」導入を決定し、居室カメラやスマートフォンの台数、設置場所の検証等話し合う。またバイタルセンサーや見守りセンサー、離床センサーの設置台数を検討し業者へ見積もりを依頼する。</p>	
令和3年9月1日	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	
令和3年10月～ 12月末	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	
令和4年3月1日	施設内で発生した新型コロナウイルス感染により、工事を期限内に完了させることが難しくなったため事業中止とし、県より承認を得る。	
令和4年7月末	令和4年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	

令和4年9月～ 令和5年1月末	補助金交付決定後、理事会にて工事請負業者及び入札執行を申請。 居室にカメラ設置の為、ご家族へ説明しご理解を得る。	
令和5年2月末	工事完了。	
令和5年3月～ 3月末	職員へ機器操作勉強会を行う。	
令和5年4月～ 令和6年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 見守り機器導入により、カメラの記録から介護事故検討対策を明確にし対応する。	
令和7年4月～ 令和8年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 職員の使用状況を把握し、業務や心身面の疲労度確認、課題について対策を検討。 業務の効率化に伴い、ご利用者との関わりについてADL状況の観察により個人に応じた介護等の見直し。	
令和8年4月～ 令和9年3月末	職員への負担軽減状況や使用状況の聞き取りによる状況分析。 ご利用者の安全確認の効率性、介護事故の軽減や体調変化時の対応状況の確認と改善。 働きやすい職場環境と人材確保の検証。	

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ケ効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（実績報告から3年目までの取組）

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム【事業所番号：0673200259】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] デジタルインカム [導入時期] 令和5年1月15日 [導入台数] 20台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(現在の問題点・導入台数の妥当性・職員との導入意義の共有)	施設環境としては、構造上、①個室(1名)の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。アンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は、100%。デジタルインカム導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されると答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①～②から、20台の導入は妥当であり、導入することで、職員間の情報共有が図られ、職員の移動負担が減り、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を可能とし、職員の見守り業務の負担軽減に大幅に貢献。働きやすい職場づくりの推進につながり、職員の定着につながると考えられる。		
機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)	○導入後(翌年)1年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応 (デジタルインカム20台導入) ○2年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応 ○3年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応		
期待される効果等	○導入後(翌年)1年目 職員間の情報共有が図られ、職員の移動負担が減り、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を可能となり、困難な見守りからくるストレスの軽減が期待できる。 ○2年目 困難な見守りからくるストレスの軽減により、より心に余裕を持った介助ができようになり、職員のモチベーションが上がる。 ○3年目 デジタルインカムの運用にも慣れ、円滑な業務遂行ができ、ご利用者様の容態に合わせた介護ケアを提供できる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	デジタルインカム導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への移動時間等）、困難な見守りからの心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。
------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
令和 4 年 8 月 1 日～ 令和 4 年 8 月 20 日	施設長、介護係長、介護リーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。		施設長ほか
令和 5 年 1 月 15 日 ～令和 5 年 1 月 31 日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。		機器設置者 施設長ほか
令和 5 年 2 月 1 日 ～令和 5 年 2 月 15 日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを予定。		施設長ほか
令和 5 年 2 月 15 日 ～令和 5 年 2 月 28 日	1ヶ月後での効果検証のためのアンケートを実施。 実績報告。（1年目）		施設長ほか
令和 6 年 2 月 15 日 ～令和 6 年 2 月 28 日	効果検証のアンケート結果に基づいた業務改善の取組検討。（2年目）		施設長ほか
令和 7 年 2 月 15 日 ～令和 7 年 2 月 28 日	効果検証のアンケート結果に基づいた業務改善の取組検討。（3年目）		施設長ほか



## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらの里【事業所番号：0670801380】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	30名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] デジタルインカム [導入時期] 令和5年1月15日 [導入台数] 11台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員と の導入意義の共有)	<p>施設環境としては、3ユニットが渡り廊下でつながっているものの、ユニット別に独立した構造となっており、①各個室の見守りが困難である。②居室同士が直線的な廊下でつながっているが、他の居室へのアクセスが悪く、見守りが困難である。アンケートでは、構造上、見守りのしづらさを少し感じる、あるいはおおいに感じると答えた職員は、100%。デジタルインカム導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されると答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①～②から、11台の導入は妥当であり、導入することで、職員間の情報共有が図られ、職員の移動負担が減り、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を可能とし、職員の見守り業務の負担軽減に大幅に貢献。働きやすい職場づくりの推進につながり、職員の定着につながると考えられる。</p>		
機器を導入することにより 達成する目標(機器導入 の翌年から3年間、年度 毎)	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応 (デジタルインカム 11台導入) <input type="radio"/> 2年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応 <input type="radio"/> 3年目 見守り業務の負担軽減及び急変時の迅速な対応		
期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 職員間の情報共有が図られ、職員の移動負担が減り、ご利用者様の急な容態変化等への迅速な対応を可能となり、困難な見守りからくるストレスの軽減が期待できる。 <input type="radio"/> 2年目 困難な見守りからくるストレスの軽減により、より心に余裕を持った介助ができようになり、職員のモチベーションが上がる。 <input type="radio"/> 3年目 デジタルインカムの運用にも慣れ、円滑な業務遂行ができ、ご利用者様の容態に合わせた介護ケアを提供できる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	デジタルインカム導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への移動時間等）、困難な見守りからの心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。
------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
令和4年8月1日～ 令和4年8月20日	管理者、介護リーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。		管理者ほか
令和5年1月15日 ～令和5年1月31日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。		機器設置者 管理者ほか
令和5年2月1日 ～令和5年2月15日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを予定。		管理者ほか
令和5年2月15日 ～令和5年2月28日	1ヶ月後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。（1年目）		管理者ほか
令和6年2月15日 ～令和6年2月28日	効果検証のアンケート結果に基づいた業務改善の取組検討。（2年目）		管理者ほか
令和7年2月15日 ～令和7年2月28日	効果検証のアンケート結果に基づいた業務改善の取組検討。（3年目）		管理者ほか

## 2 補助事業計画書

事業者名	医療法人健友会		
事業所名	介護老人保健施設ひだまり【事業所番号：0650880032】		
介護サービスの種類	介護老人保健施設	定員数	100
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	<p>[製品名] クリアトークインカム</p> <p>[導入時期] 令和5年2月15日 [導入台数]20台</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員との 導入意義の共有)	<p>フロアが広く、業務上の動線が長いことや一目で見渡せる建築構造ではないため、全スタッフがインカムを装着することによって必要な職員を探す手間が減り、職員同士の情報の連絡が円滑に行き、業務効率が上がることが予想される。</p> <p>特に夜勤業務においてはインカムなどの導入は、スタッフからも求められており、導入後は働きやすい環境になる事が期待される。</p>		
機器を導入することにより 達成する目標(機器導入の 翌年から3年間、年度毎)	<p>○導入後(翌年)1年目 施設内での無駄のないスタッフの移動を目指す。</p> <p>○2年目 インカムを用いて随時必要な利用者情報などを共有して利用者のケアに活かす。</p> <p>○3年目 インカムを使用することにより、見守りのないところで起こる事故を減らす。</p>		
期待される効果等	<p>○導入後(翌年)1年目 インカムで連絡することにより、スタッフの間接的な業務(移動)を削減する。</p> <p>○2年目 細かな申し送りをインカムで行うことにより集合しての申し送りの時間を短縮することで、直接的なケアの時間が増える。</p> <p>○3年目 現場を離れる際に起こる事故を防止する。</p>		
効果検証の方法(効果に関する データを客観的な評価指標に 基づいて記録)	<p>例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど 他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 介護時間の短縮、具体的には申し送りの時間の短縮・残業時間が減るなどの業務改善効果を職員へのアンケートで検証する。</p>		

### 3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
3年12月16日 ～ 年 月 日	機種選定、実際の使用している施設での状況視察 ・インカムの展示会に参加。 ・インカムを導入している県内の福祉施設を見学。		
4年1月28日 ～ 年 月 日	インカム取り扱い業者より、インカムの具体的な効果などをプレゼンしてもらう。		
4年3月17日 ～ 年 月 日	法人の管理部会議においてインカムの導入について予算化の検討を行う。		
4年5月19日 ～4年7月31日	導入計画の検討 現場スタッフと情報交換により業務上の問題点などを洗い出し、導入台数などを検討する。		
5年1月16日 ～ 5年1月末日	実機の取り扱いの説明会、スタッフの質問に対応。		
5年1月15日 ～5年2月15日	デジタルトランシーバー等の機器設置、工事設定・試験調整		
5年12月 末日 ～ 年 月 日	導入1年目の効果検証：「施設内での無駄のないスタッフの移動を目指す」について職員アンケートを実施する。		
6年12月 末日 ～ 年 月 日	導入2年目の効果検証：「集合しての申し送りの時間を短縮し、直接的なケアの時間が増える。」について職員アンケートを実施する。		
7年12月 末日 ～ 年 月 日	導入3年目の効果検証：「見守りのないところで起こる事故を減らす。」について職員アンケートを実施する。		

#### ※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること